

うことが原因となつて死者や行方不明者が多
 くなつてしまつたと考えました。また、今ま
 での私のように土砂災害の恐ろしさをわかっ
 ていない人がたくさんいて逃げ遅れになが
 っていると思います。そうした逃げ遅れや
 被害を減らすために大切なことは三つあると
 思います。一つ目は「自身事」として考える
 ことです。福井豪雨の時はみんな自然災害に
 慣れていて軽く思つていたため避難する人が
 少なかつたり逃げ遅れる人が多かつたと考え
 たためです。「まだ大丈夫」や「みんな逃げ
 ていないから」など他人事に考える人が逃げ
 遅れてしまう人だと思つるのでそれを無くすこ
 とが大切だと思ひます。福井は自然災害を沢
 山経験してきたエリアです。この「経験」が
 避難行動にとつてマイナスな経験となる場合
 があります。しかし「経験」はプラスにする
 ことができればと思います。行動は情報、経験
 環境から成り立っています。このことから避
 難行動は災害の時の情報、これまでの経験、

置かれた環境に大きく影響されていると言えます。つまり、福井豪雨という恐ろしい災害を経験した福井ではその経験をプラスに働かせることができません。二つ目は「自助」だと思います。災害でできるだけ被害を減らすための行動は三つあり一つ目は一人ひとりが自ら取り組む「自助」二つ目は身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」三つ目は国や公共団体などが取り組む「公助」です。三つの中でも「自助」は自らの命を守る意識を持つて自分一人で行動することができ、一番の基本で大切なものです。日頃から防災グッズを用意しておいたり、避難経路や避難場所を確認しておくなど簡単なものばかりなので自分事として考えることにも役立つと思います。した、福井豪雨のような大規模災害の時には「公助」がすぐに届かない場合もあると思うから「自助」による事前の備えが被害を最少限にするための非常に重要なことになります。今日から行動することができることなので一

人ひとりか「自助」を心かけて災害に対しての意識を持っていきたくです。三つ目は、家族との連携です。いつ起こるかわからない自然災害だからこそいつも備えることが大切だと思います。私は去年家庭科の授業で「ローリングストック」を学びました。ローリングストックとは防災用に備えながら使い、使った分を買い足すことです。ローリングストックでは日々使いながら備えることが出来ます。また、ローリングストック以外にも水災補償や地震保険、防災袋などたくさんあるのであります。防災袋に必要なものは一人ひとり違うため家族と話しながら自分も家族も守れるような防災の取り組みを考えて行動していきたくです。日本は自然災害が多い国で南海トラフ地震なども予想されており日々の備えが大切です。私は、家族に話を聞いたり新聞を読んで福井豪雨の被害や土砂災害の恐ろしさ、防災の大切なことを知って考えを深めることが出来ました。福井豪雨の経験や日本な

どで起きた自然災害の経験や教訓を活かすこと
とで同じ被害を繰り返すことを防ぐことがで
きます。

私には大切な人やものがたくさんあります。
その大切な人やもの、自分を守るためには自
然災害を甘く見ないで自分事として捉えて日
々を大切に過ごして行きたいです。自然災害
は予想することや止めることはできないし、
私もまだ中学生でできることは少ないけれど
一人ひとりの小さな行動や「自助」がみんな
の助けになることがわかりました。私はいま
ではあまり防災意識がなかったけれど土砂災
害について学んで災害の怖さや防災の大切さ
などを知ることができました。これからは学
んだことを活かして地球や自然と上手く共存
していきたいです。